



令和6年度 親子支援者のための発達障害支援基礎研修

発達障害は保健・医療・教育において早期に把握されるようになりました。中でも親子支援を担う専門職は、発達障害がある本人及び保護者とファーストコンタクトとなることが多く、両者にとって初の支援者として関わり影響を与える重要な役割となります。

また、発達障害の支援は全てのライフステージに必要であることから、他職種や他機関との連携が重要であると言われています。その連携において、親子支援を担う専門職は、「支援をつなぐ」という役割を担っています。では「支援をつなぐ」とはどのようなことでしょうか？また、自分たちの専門性は「支援をつなぐ」中でどのように活かされるのでしょうか？この研修は、自ら考え、様々な意見の中から自分なりの答えを探していきます。専門性を高め、発達障害児への支援に役立てられるような研修として開催していければと思っています。



1 日時及び場所（*内容は同じです）

- 令和6年10月29日(火) 午前10時から午後4時30分(受付:午前9時30分から)
西三河総合庁舎 701 会議室(岡崎市明大寺本町1-4)
- 令和6年11月12日(火) 午前10時から午後4時30分(受付:午前9時30分から)
医療療育総合センター 講堂(春日井市神屋町713-8)

2 内容

(1) 講演「発達障害支援の基礎的知識」

発達障害について基本的な知識である法律、障害の特性、支援の手立てなどを学びます。また、当センターにある統計データを活用してご本人及びご家族の悩みについて考えます。

講師:あいち発達障害者支援センター職員

(2) インタビュー「親の気持ち～心に寄り添うこと～」

発達障害のある子どもを育てる親から、幼少期の支援を振り返り、専門職の対応など率直なご意見を聞かせていただきます。

インタビュアー:あいち発達障害者支援センター職員

インタビュイー:愛知県ペアレント・メンター



(3) 講演・グループワーク「専門職としての役割～支援をつなぐために必要なこと～」

支援とはどのようなものなのか、共に考える機会とします。参加者一人ひとりの考えを整理し、より良い支援とは何か考えます。

講師:あいち発達障害者支援センター職員



3 対象者

- ・愛知県内の市町村職員であり、親子支援に携わる保健師等の専門職職員
 - ・愛知県職員であり、母子担当など発達障害に関する基礎力をつけたい保健師
- *基礎的な研修のため、経験年数が5年未満の職員に積極的に参加してもらいたいです

4 定員

各日 30名

5 申込方法

あいち電子申請システム

https://www.shinsei.e-aichi.jp/pref-aichi-u/offer/offerList_detail?tempSeq=104686



6 申込締切

令和6年10月15日(火) 午後5時まで

*定員を超過した場合は早めに締め切らせていただきます



【連絡先】 あいち発達障害者支援センター(籠原)

(愛知県医療療育総合センター療育支援センター地域支援課内)

電話 0568-88-0811

内線 8108又は8109

メール asca@pref.aichi.lg.jp